

## NEWS RELEASE

2026年3月2日

### 当社事業方針に関する重要なお知らせ

三菱マヒンドラ農機株式会社（本社：島根県松江市、CEO 取締役社長：齋藤 徹）は、農業用機械事業からの撤退を決定致しました。当社は、これまで当社製品をご愛顧いただいたお客様への影響を最小限に抑えるため、当社製品の補修用部品供給及び製品保証を継続する一方、2026年度上期を以て農業用機械の生産及び販売を終了する予定です。

#### ■ 事業撤退の背景

当社は1914（大正3）年創業以来、国内外の食料安定供給の一翼を担うべく農業用機械事業を展開し、多くの農家の皆様に当社製品をご愛顧いただけてまいりました。事業環境が国内外で大きく変化する中でも、当社は持続的成長を目指し、構造改革を断行しつつ高まる市場のニーズに応えるべく新商品の開発に取り組み、新規市場開拓におきましても努力を重ねてまいりましたが、近年の業界を取り巻く市場環境および需要構造の変化、並びに生産体制に関する諸条件を総合的に勘案し、長期間に亘って事業としての収益性と将来の持続可能性を慎重に見極めた結果、当該事業の安定的な継続は困難であるとの結論に至りました。

#### ■ 撤退事業

対象事業：農業用機械の研究・開発、生産、国内 及び 海外への販売  
撤退時期：2026年度上期（予定）

#### ■ 継続事業について

継続事業：当社製品の補修用部品供給事業 及び 製品保証事業

#### ■ 今後の予定

継続事業以外の事業については、会社法に基づき会社を解散し、通常清算手続を行う予定です。事業撤退により、当社製品をお使いのお客様をはじめ、お取引様を含む関係各位へのご不便・ご迷惑をおかけすることのないよう配慮の上、進めてまいります。今後、各取引先様には個別にご連絡させて頂く予定です。また、継続事業に従事する社員を除き、本事業撤退によりやむなく退職となる社員には可能な限り再就職支援を行ってまいります。

長きに亘り当社事業を通じて、多くのお客様およびお取引先様各社関係者の皆様にご支援を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。